

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和5年2月27日

事業所名:プロッサムジュニア 玉里教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			生活空間は児童がわかりやすい環境になっています。情報伝達も白板、イラスト等でわかりやすく表示しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			活動毎に清掃、消毒を徹底しています。生活空間は児童がわかりやすい環境になっています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務改善(PDCAサイクル)は職員で話し合いながら進めている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後は第三者(外部の有識者)に評価を依頼し改善を行っていききたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			今後、専門的な研修を実施し療育活動に繋げていききたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			児童の状況に合ったアセスメントツールを増やせるようにしていきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			発達支援は具体的な支援内容を設定しています。今まで以上に保護者様との連絡を頻繁に取り、「家族支援」を行います。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		個別療育、集団療育が固定化しないように工夫している。	児童に合わせた様々のパターン(ツール)を仕組化していききたい。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		児童の状況に応じて個別療育の内容を立案し活動を行っている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員間で支援内容や役割分担について確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		専門システムを使用して社員間の情報共有を行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録を取り、支援の検証、改善に繋げている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングを実施しているが、保護者様との面談機会を増やして療育内容を充実させていききたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			関係機関と連携している。 電話、訪問をおこなっています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			担任の先生と事前に情報を共有している。 連携会議で情報を共有している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			担任の先生と事前に情報を共有している。 連携会議で情報を共有している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		医療機関の専門士に訪問していただき助言をしていただいている。	コロナウィルスの状況により、定期的な活動が出来ていない。計画を立て活動を行っていききたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		他施設と交流や活動が出来るように準備していききたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		参加できる機会があれば参加をしていききたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の状況について保護者様との連絡を頻繁に行い、共通理解を持つよういたします。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		保護者様に対して父母の会及び面談等を通じて家族支援プログラムの活動を行っていききたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明、変更があればその都度、説明を行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			保護者様に児童発達支援計画を示し、支援内容の説明を行い同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的に保護者様との面談実施、保護者様と関係機関の連携を強化していきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		父母の会は新型コロナウイルス感染等の状況により開催を検討します。 保護者同士の連携を支援していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			児童及び保護者からの相談や意見は真摯に受け止め迅速に対応をいたします。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、教室だよりを発行しています。 活動概要や行事予定をわかるようにしています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いは十分に注意しています。職員間でチェックしています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			児童への情報伝達は白板、イラスト等でわかりやすく表示しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域住民と交流や活動が出来るように準備していききたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		各マニュアル等を整備し、職員や保護者に周知していきます。発生を想定した訓練を実施しています。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		非常災害(防犯・火災・地震・噴火等)の訓練を行っています。	保護者様には非常災害の訓練内容を広報誌にて報告を行います。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			てんかん発作の研修を実施しています。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員会議で虐待防止の確認(チェックリスト)を行います。定期的に研修及び委員会を開催していきます。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			職員会議で身体拘束の確認をを行います。定期的に研修及び委員会を開催していきます。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)